

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：山田智子 ）

著書，学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文:原著) 女性中堅看護師の看護実践 能力に影響を与える要因—個人 属性からの検討	単著	2017年3月	広島国際大学看護 学ジャーナル, 14(1)	女性中堅看護師へ質問紙調査を行った結果， 看護実践力の向上には仕事とライフスタイルを 両立し安定した生活を保障した上でキャリアが継 続できるようなワーク・ライフ・バランスの取り組み や職場環境の整備が重要であると示唆された。 (総ページ数:12)
2 (学術論文:研究報告) 高齢者における人生の振り返 りに関する質的研究《筆頭論 文》	共著	2019年3月	広島国際大学看護 学ジャーナル, 16(1)	サクセスフル・エイジングを実現している高齢者 12名に半構造化面接調査を行い，人生の振り返 りと今後の人生への思いを分析した。対象者はこ れからの人生を満足して過ごすために，健康を 維持しながら社会的な活動を継続したり，周囲の 人と助け合いながら生活することを望んでいるこ とが明らかとなった。(総ページ数:12) (著者:山田智子, 礪村由美, 乗越健輔, 白木智 子, 近藤裕子) (担当部分:研究の構想, データ収集・分析, 原 稿の作成)
3 (学術論文:研究報告) 女性中堅看護師の仕事意欲 と看護実践能力および個人属 性の関連性	単著	2018年3月	広島国際大学看護 学ジャーナル, 15(1)	女性中堅看護師の仕事意欲と看護実践能力お よび個人属性との関連性について検討した。女 性中堅看護師の仕事意欲と看護実践能力得点 には正の相関があった。また，自己研鑽をして いる者や興味のある看護系進路を持つ者，看護職 としての職業継続意思のある者は仕事意欲が有 意に高かった。(総ページ数:13)
4 (学術論文:総説) 終末期がん患者における褥瘡 ケアの考え方《筆頭論文》	共著	2017年3月	エンド・オブ・ライフ・ ケア, 1(1)	終末期がん患者における褥瘡ケアの考え方につ いて，褥瘡の特徴や予防的アプローチの重要 性，倫理的視点などを解説。(総ページ数:8) (著者:山田智子, 茂木定之) (担当部分:原稿の構想・デザイン・作成の全て のプロセスを担当)
5 (報告・発表) 島嶼地域に住む高齢者に対 する社会貢献活動を通しての 学びと社会人基礎力	共著	2018年11月	第13回日本ルー ルナーシング学会 学術集会	瀬戸内海島嶼地域における社会貢献活動を4 年間継続した看護学部生の学びと社会人基礎 力の変化を明らかにした。社会人基礎力の12能 力要素全てにおいて得点の上昇が見られ，特 に，「チームで働く力」が大きく上昇していた。 (著者名:吉屋寿則, 小柳なつき, 島田恵里, 高 田美緒, 御園生愛美, 山田智子, 白木智子) (担当部分:研究デザイン, 分析解釈, 原稿作成 への助言)
6 (報告・発表) 高齢者が自らの人生を振り返 る意義—高齢者へのインタビ ューから	共著	2015年6月	第20回日本老年看 護学学会学術集会	高齢者が自らの人生を振り返る意義を明らか にする目的で半構造化面接を実施し質的に分析 した。高齢者が人生を振り返ることは自らの人 生を統合し，今後の人生を送る上での新たな気 付きや未来を志向することができるため，高 齢者自身のQOL向上に繋げることができること が示唆された。 (著者名:山田智子, 礪村由美, 白木智子, 乗 越健輔, 近藤裕子) 担当部分:共同研究のため担当部分抽出不可 能。